

	提 案 名	提 案 団 体 名	
		代表者氏名	所 属
4	子供が笑顔で遊べるまちづくりを目指して 《地区子供センターの設置》	作新学院大学総合政策学部まちづくりゼミ5期生	
		菊池 遼太郎	作新学院大学 総合政策学部
		指導教員 氏 名	橋立 達夫

1 . 提案の要旨

近年、多発している登下校における誘拐事件を機に、私たちは子供たちが安全な環境で楽しく遊ぶことをモットーに、地域が子供たちのためにできることは何かについて考えました。私たちは、身近な場所で子供同士が気軽に利用できる「地域における子供の居場所作り」を提案します。

提案の理由は、子供が学校から帰宅しても両親が共働きの家庭が増え、家に一人であることにより孤独感や家庭内における防犯に対して不安要素が生みだされ、子供にとって危険であると考えられます。

このような危険要素から子供たちを守るためには、地域での子供の居場所作りが必要です。子供が一人で帰宅すること・家に一人であることが、子供の居場所を作ることにより減少し、地域住民が子供に対し、「地域の子供」という目線を持ち、子供の立場が把握できることにつながります。つまり、地域住民が子供の居場所作りと防犯対策を一つのものとして考えることになるのです。

居場所作りをするにあたり、設置場所や金銭面などで問題点も生じますが、金銭の利益を求めるのではなく、子供が安全に過ごせる環境こそが地域の利益であると考え、市役所や公共団体・学校との協力が不可欠です。各方面が協力することで「子供」を中心に地域の輪も広がります。

2 . 提案の目標

ここ最近、幼い子供の命を狙う犯罪が多発している中で、子供たちが屋外で安心して遊べる場所が少なくなってきました。実際、公園などを見ても子供たちが元気に遊んでいる光景を見ることがも少なくなっているようにも思えます。

そこで、私達は子供たちが安心して、思い切り遊ぶ事が出来るように、また、子供たちの身の安全を心配する親御さん達にも安心してもらえるよう、地区子供センターの設置をしたいと考えています。そこでは、地域のお年寄りや学生ボランティアに協力を依頼し、子供たちには安全を守りながら楽しく遊べる遊び場を提供し、親御さん達には安心して子供を預けて頂けるような場所を作ろうと考えました。

そして、この地区子供センターを設置することにより、地域内に「危険から子供の命を守る」という意識を芽生えさせ、子供達や、親御さん達に安心・安全な地域ネットワークをつないでいくことを目指していきたいと思います。